

1 情報教育部会の活動

(第1回情報教育主任会)

- (1) 日 時 平成 27 年 4 月 13 日 (月)
- (2) 場 所 四国中央市立三島東中学校
- (3) 内 容
 - ① 平成 27 年度役員選出
 - ② 本年度の研究主題、研修計画の決定
 - ③ 各校での取組の共有

2 小学校情報教育研修会の実施

7 月 27 日 (月)、長津小学校に於いて、小学校の情報教育主任を対象に、各小学校のパソコン室に配置されている「コラボノート」の有効活用を促進するため、講師を招いて研修を行った。

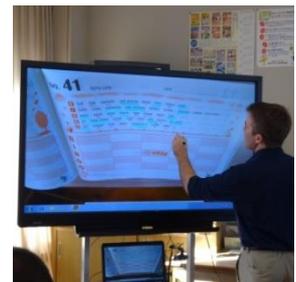
3 学校グループウェアの活用

四国中央市では、昨年度までの「全体フォルダ」の活用に加え、学校グループウェアを導入し情報の共有や連絡を行った。これによって業務の効率化が図られ、学校間の連絡も円滑に行うことができるようになった。



4 ICT 機器の活用

四国中央市全体では 10 の項目を掲げ、授業のユニバーサルデザイン化に取り組んでおり、すべての小・中学校に「ボード型電子黒板」が配置されている。今年度、新たに「授業のユニバーサルデザイン化」モデル校事業を開始し、モデル校の一つとなった土居中学校には 4 台の「一体型電子黒板」が配置され、英語科や数学科を中心に活用している。



また、タブレット端末を無線でプロジェクタに接続して写真やプリント等をスクリーンに投影する方法もある。この方法は、比較的安価に機器を導入することができ、活用できる場面も多い。様々な授業の形態に合わせて、これらの機器を適切に活用するための工夫が求められている。



5 成果と課題

「情報教育に関する実態調査」の結果より、電子黒板を授業で活用したいと考えている教員が多いことが分かった。それとともに電子黒板の活用方法に関する研修を受けたいと考える教員も多数おり、これからソフトとハードの両面で研修の場をもち、お互いに情報を交換しながら研究を深めていく必要があると思われる。

